

CTEMってなに？ ASM・BASも包括する 最新フレームワーク

Pentera Securities Ltd.
カントリー・マネージャー
ミッチャエル ディバート

2024年5月16日

世界中で信頼されています

2018年
販売開始

350
従業員数

\$1.5億
出資受け入れ額



Blackstone

INSIGHT
PARTNERS



evo/ution
EQUITY PARTNERS

50
か国・地域



1000
お客様数

TOYOTA

NHS

GAP

Blackstone

Casey's

teva

Telefónica

SEPHORA



JANSEN

City of
Vienna

F
P
FRANCISCO
PARTNERS

Azul

Bell

Virgin

BlackRock

Deloitte



NORTHERN
TRUST

CITY NATIONAL BANK
AN RBC COMPANY

ADD SECURE

Apria
HEALTHCARE*

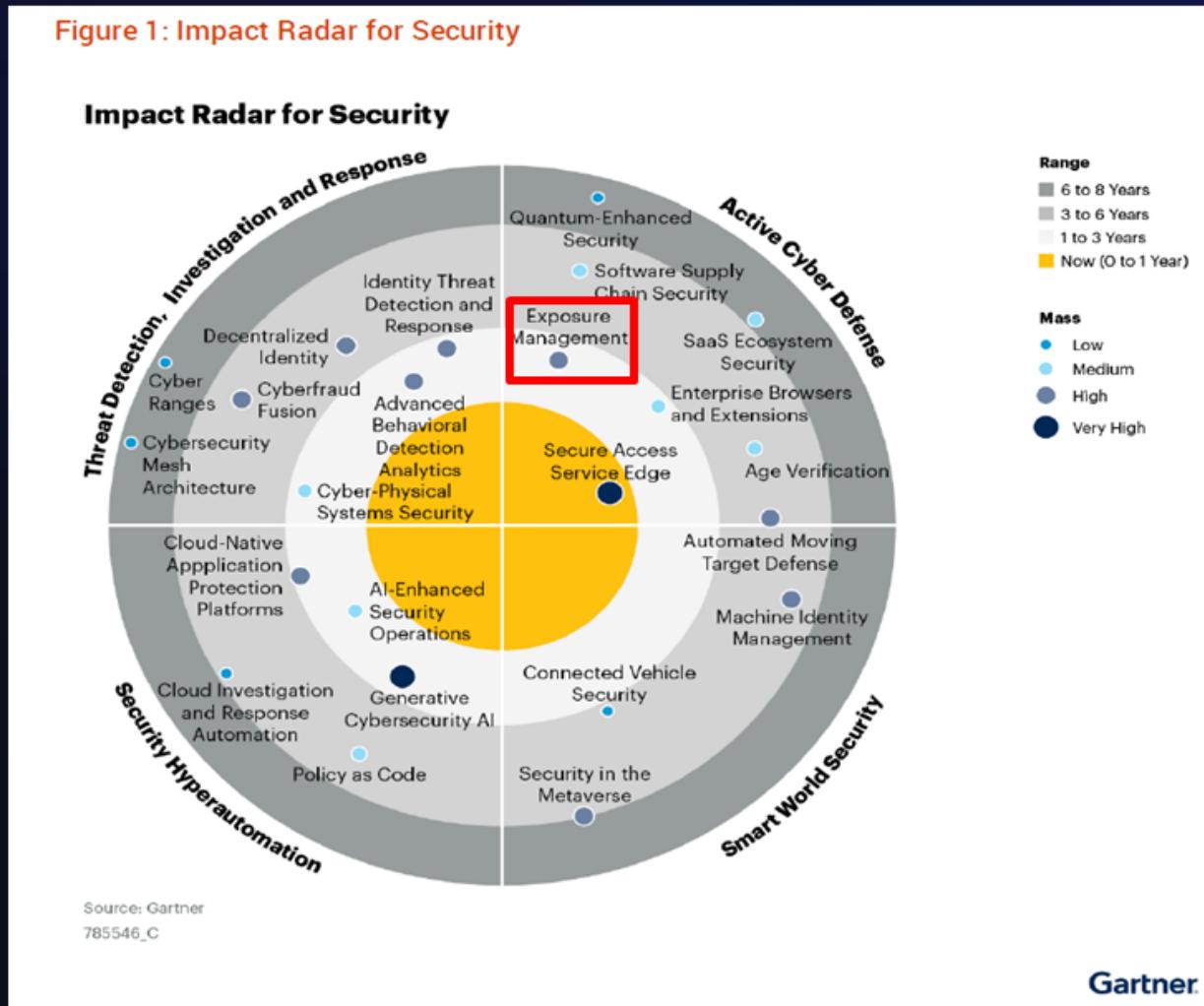


CTEMとは？



新興テクノロジーインパクトレーダー: 2023年セキュリティ

Figure 1: Impact Radar for Security



“自動化された侵入テストは3-4年後には脆弱性スキャナーを持つのと同じくらい広く利用されていると思われます。

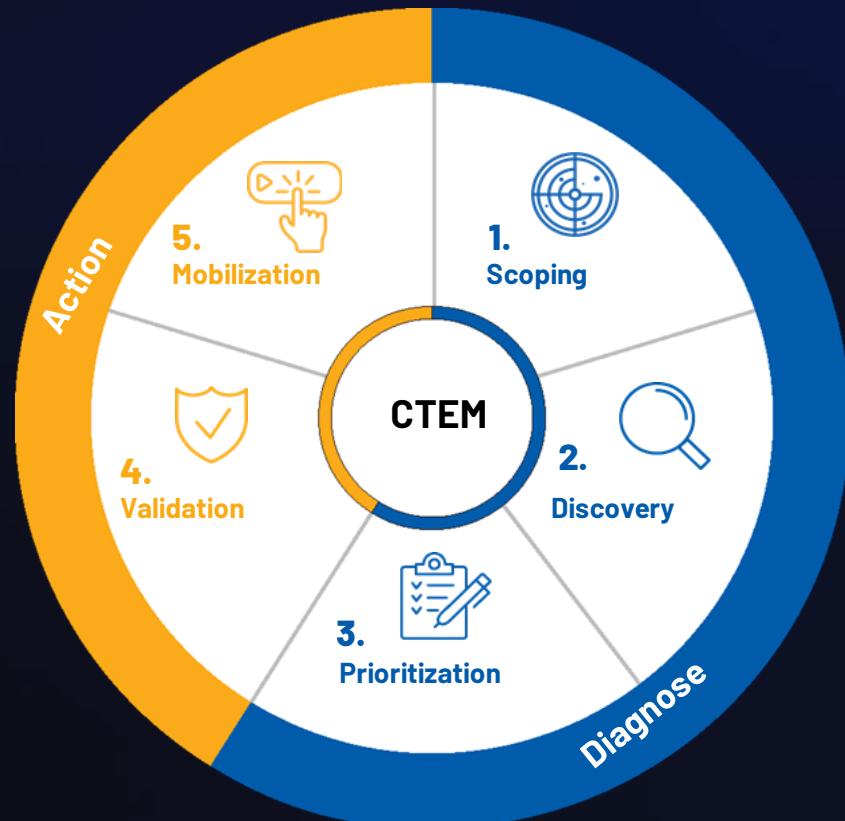
(最高情報責任者 セキュリティ責任者 (CISO) の立場として継続的な検証を実現して、最高の人材を維持し、レッドチームによる侵入テストをより頻繁に実行したいならば Penteraのようなプラットフォームが必要です”



PENTERA

エクスポージャーマネジメントの
サンプルベンダーに選出されております。

Continuous Threat Exposure Management (CTEM)



1. Scoping / スコープ設定
2. Discovery / 発見
3. Prioritization/ 優先順位付け
4. Validation / 検証
5. Mobilization / 動員

(E)ASMと(CT)EMとの違い

Exposure Management の構成要素 Gartner

(エクスポージャーマネジメント)



内部	優先順位付け	対象を定めた
外部	分類	包括的
デジタルリスク	認知	コンプライアンスに基づく

※検証とは本物の攻撃手法を使って、脆弱性を発見することです。

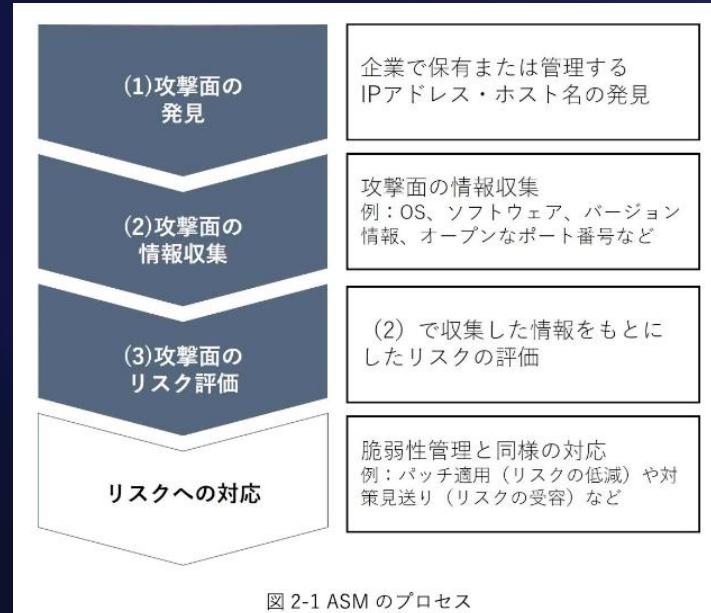


図 2-1 ASM のプロセス

攻撃表面管理(ASM)の構成要素



企業の置かれている現状

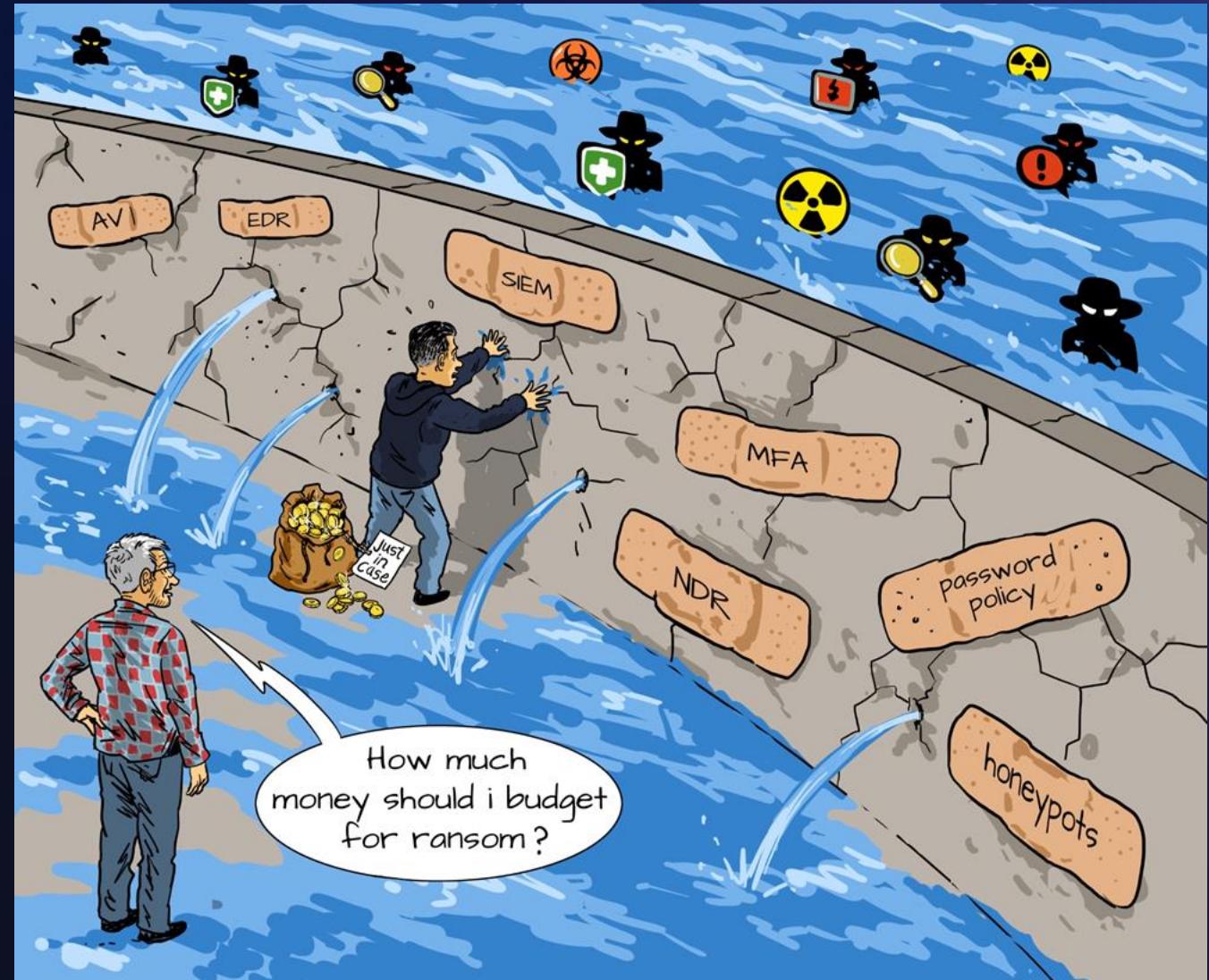


セキュリティ予算の増加は
脅威の増大に追いついていません



出典: Gartner (2022年10月) Gartner | Cybersecurityventures

なぜ攻撃が減らないのか？





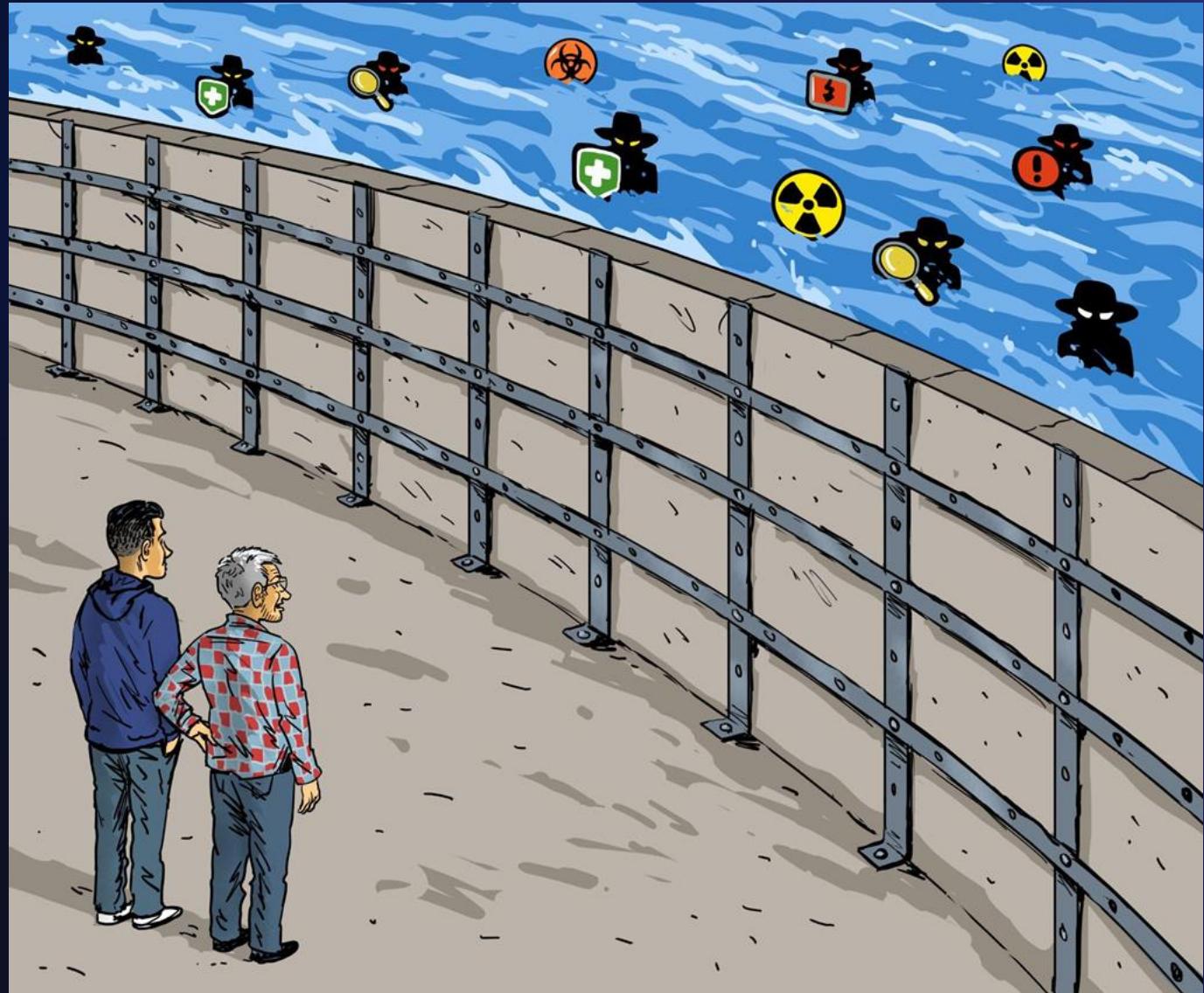
対



防御側
点で考える

攻撃者側
グラフで捉える

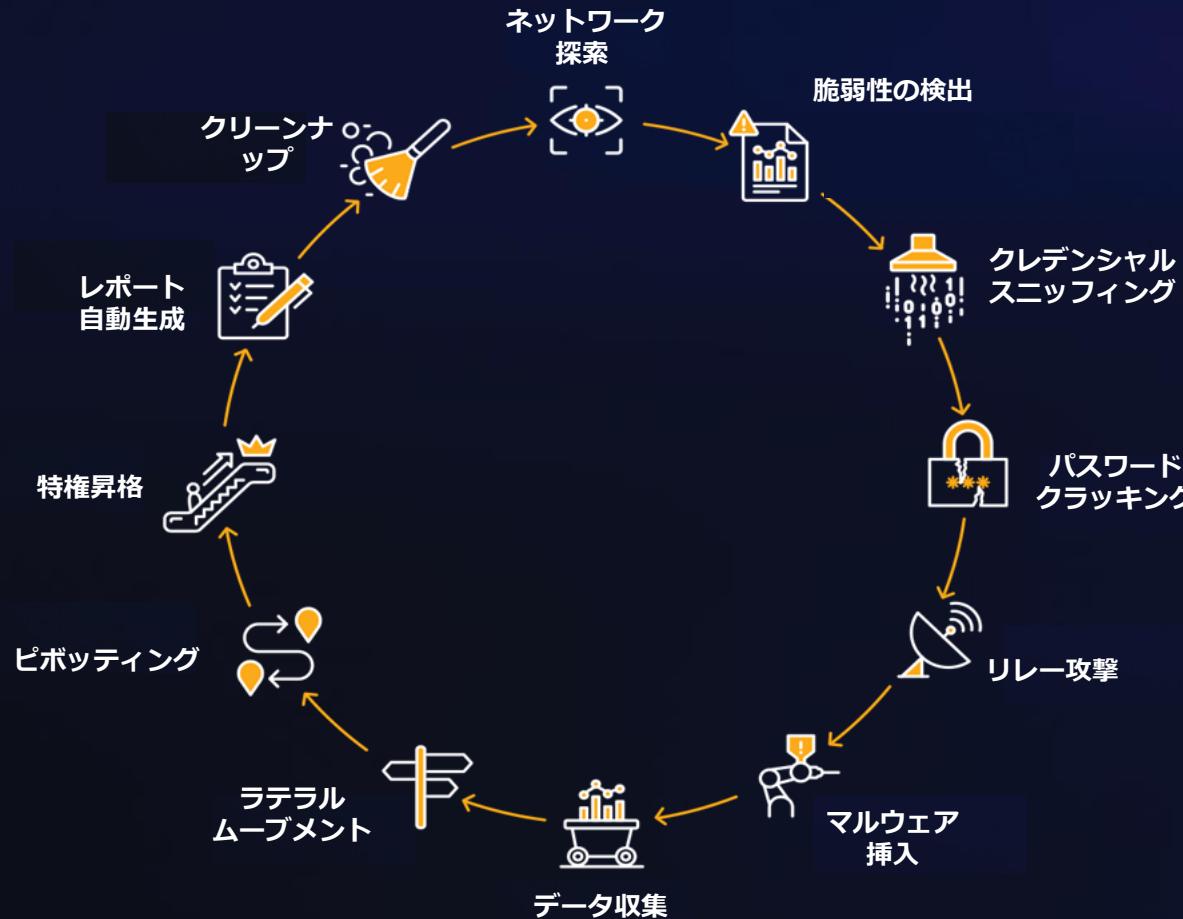
自動化された セキュリティ 検証の活用



PenteraによるCTEM運用の効率化 の実現

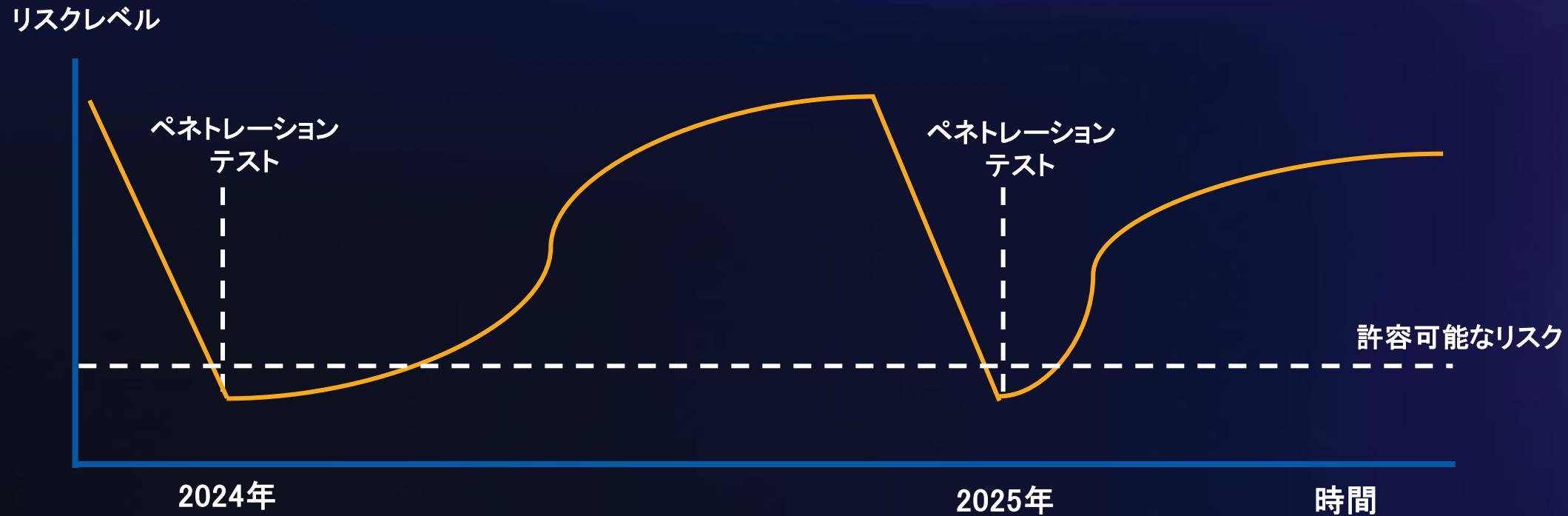
Peteraが考える検証とは？

ASV(Automated Security Validation)

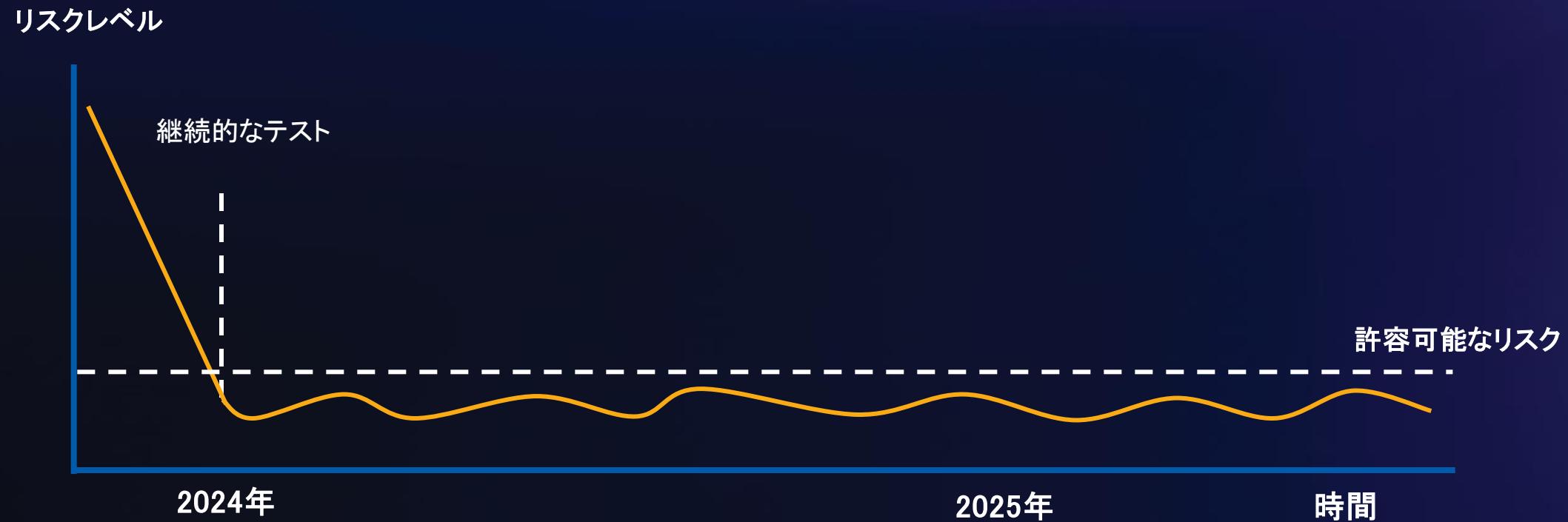


- ・ **自動化**
- ・ **実際の攻撃をもとにしたテスト**
- ・ **安全**
- ・ **継続性**
- ・ **エージェント不要**
- ・ **対応策のご案内**

従来のセキュリティ検証 年に一度、ITの5%~10%を実際にテスト

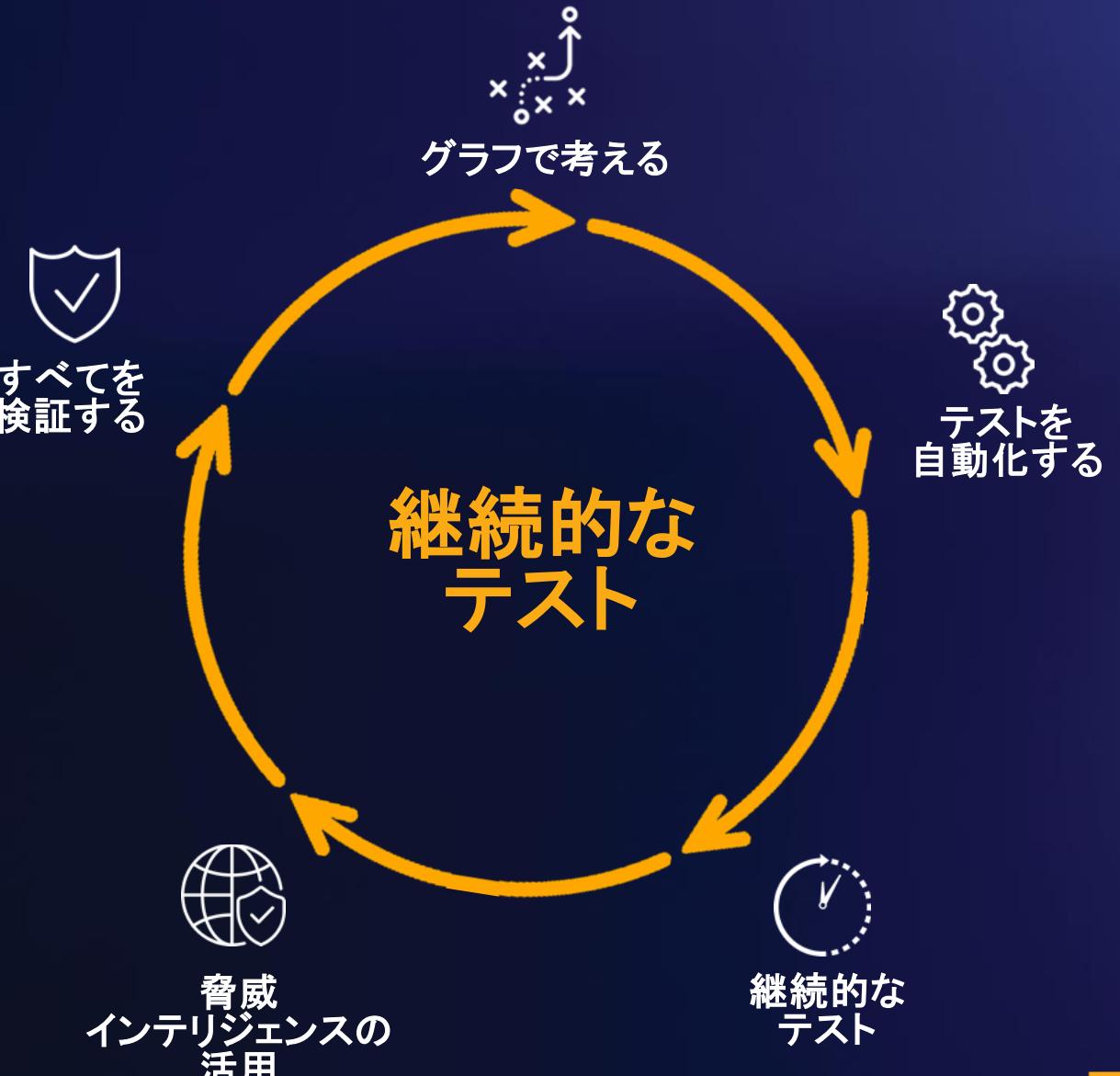


継続的なセキュリティ検証



まとめ:

CTEMの中核となる
検証=Petera





CTEMでは、セキュリティ検証能力が一番の
キーポイントになります。





Thank You.

Penteraの活用事例

海外銀行事例



City National Bank
設立：1954年
総資産：14兆円*

継続的な診断を行うことにより、
正確にセキュリティ運用状況を
把握することができている。

Penteraを用いることにより、
網羅的にセキュリティ状況を把握、
改善策の立案ができている。

Penteraを用いることにより網羅的なセキュリティ状況の把握、
セキュリティ耐性の継続的な改善に繋がっている。

- \$93.72B (2024年1月31日)

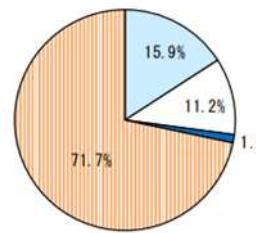
引用：<https://pentera.io/resources/case-studies/page/3/>

Copyright © Tokyo Electron Device LTD. All Rights Reserved.

ユースケース 1

リスク評価が可能な人材の不足

図表8 新たなデジタル技術導入により生じ得るサイバーセキュリティに関するリスク評価が可能な人材の確保状況



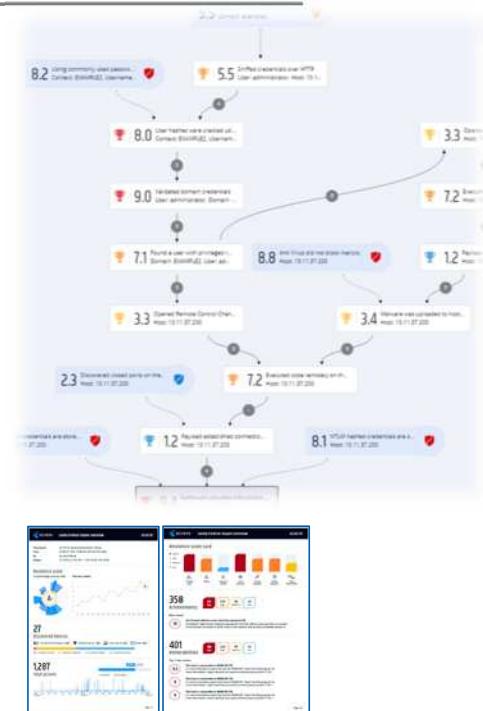
- 自組織職員のみ(他部署からの配置転換を含む)で要員を十分確保できている
- 自組織職員に加え、外部人材(親会社等からの人材を含む)の活用により十分な要員を確保できている
- 外部人材の活用のみで十分な要員を確保できている
- 要員を十分に確保できていない

脅威の重大性評価ができる人材の不足

Penteraの特徴

攻撃範囲を
ステップで可視化

成功した攻撃の
重大度スコアづけ



脅威の重大性評価が可能に

出典：「地域金融機関におけるサイバーセキュリティセルフアセスメントの集計結果（2022年度）」（日本銀行金融機構局、金融庁総合政策局）（<https://www.fsa.go.jp/news/r4/cyber/honbun.pdf>）

Copyright © Tokyo Electron Device LTD. All Rights Reserved.

ユースケース 2



リスク診断の工数、コスト

1. 委託先検討
2. 診断前すり合わせ
3. 診断前内部調整
4. 診断実施
5. 診断後のレポート待ち

多くの工数
高い委託費

Penteraの特徴

エージェントレス
診断対象の調整負荷小



少ない設定項目で
診断を即時開始



工数、委託費のトータルコストを削減

6月6日開催！CTEMを試せる！！

CTEMハンズオンを開催！

Gartner Exposure managementのカテゴリのサンプルベンダー

Penteraを使って、CTEMのアプローチを簡単に実現する方法を体験できます。



実施内容

- 導入：Penteraコンセプトのご説明
 - 実践1：Coreライセンスを使った内部環境への診断
 - 実践2：Ransomware + パスワード耐性診断
 - クロージング：QA
- ※定員：最大4組（1組5人まで）

申し込みはこちらから



会場 東京エレクトロンデバイス 新宿サポートセンター
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-33-4 住友不動産西新宿ビル 4号館 1F